

なごや・よりどころサポート事業は多くの社会福祉法人が参加し、運営しています。

ともに地域の“よりどころ”になりませんか？

■参加の仕方 いずれかの方法で、参加していただきます。

施設の機能や特色を活かして、ちょっとした困り事などを気軽に相談できる機会をつくります。

養護施設等出身者の若者のために「緊急時支援」や「就学支援」の窓口となり、必要な支援を行います。

居場所・サロン
実施施設

「就学支援」対象の若者が社会に巣立つ前に様々な経験が積めるようボランティア活動の場を提供します。

よりそい
支援施設

社会福祉法人の
地域における
公益的な取組
になります。

ボランティア
受け入れ施設

中間的就労
受け入れ施設

なごや・よりどころ
サポート基金
への拠出

名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンターとの連携のもと、中間的就労を受け入れます。
(名古屋市の生活困窮者就労訓練事業認定を受ける必要があります。)

なごや・よりどころサポート事業の運営に必要な基金へ拠出をします。
(1口 20,000円 / 年)

※平成 28 年 4 月 1 日、社会福祉法改正により「社会福祉法人の地域における公益的な取組」が責務化されました。
※基金の拠出だけでは公益的な取組に該当しません。

編集委員

このパンフレットの作成にあたっての企画や取材には、参加法人から募った編集委員の皆様にご協力いただきました。

(順不同・敬称略)

法人・施設名	氏名
(福)名古屋市総合リハビリテーション事業団	東野 友香
(福)フジ福祉会名東パラダイス	篠田 英次
(福)昭徳会 名古屋若松寮	渡部 隆一
(福)名古屋市港区社会福祉協議会 港福社会館	城谷 久美

なごや・よりどころサポート事業 事務局

社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進部

〒 462-8558 名古屋市北区清水四丁目 17 の 1 名古屋市総合社会福祉会館 5 階

TEL (052) 911 - 3193 FAX (052) 913 - 8553

なごや よりどころサポート事業

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会 社会福祉施設部会委員会



社会福祉法人が地域の
「よりどころ」となることを目指して

社会福祉法人が地域の“よりどころ”となることを目指して

名古屋市社会福祉協議会・社会福祉施設部会委員会では、社会福祉法人制度改正により「社会福祉法人の地域における公益的な取組」が責務化されるのに先駆け、平成26年度から市域の社会福祉法人が連携して行うことのできる公益的な取組について検討しました。

まず、市内の社会福祉法人が運営する施設を対象に「社会福祉法人の社会貢献意識調査」を実施し、その結果を踏まえ、社会的孤立や虐待、貧困などを原因として生きづらさを感じている人たちが、既存の制度やサービスでは解決できないと思われる課題に着目し、どのような取組ができるかを協議しました。

そして誕生したのが、「なごや・よりどころサポート事業」です。

よりど

居場所・サロンづくり事業

～より身近な地域でどこでも相談できる～

「家族以外の人と」
交流がない人



※ OECD加盟国20か国中最も高い割合
(出典)OECD,Society at Glance:2005 edition,2005,p8

地域の交流を育み、ちょっとした困り事などを気軽に相談できる場として、施設の機能を活かした様々なタイプの居場所やサロンを提供し、住民が安心して暮らせるように支援します。

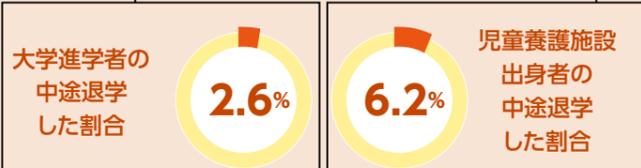
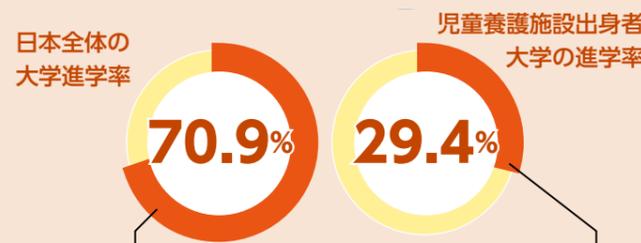
サロンとは？

地域住民が気軽に集える場所をつくることを通じて、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」をするための活動です。

若者よりそいサポート事業

～こどもたちの未来を応援～

全国の
児童養護施設 児童数 **27,288人**



(出典)「平成29年度学校基本調査」/社会福祉法人 全国社会福祉協議会 児童養護施設協議会「平成29年度児童養護施設入所児童等の進路に関する調査報告書」/厚生労働省児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会資料(平成27年3月2日)

<就学支援>

児童養護施設等を出て大学等へ進学する若者に、参加施設から毎月3万円の生活資金を手渡しし、面談により生活の様子を聞いたり相談にのったりします。また、幅広い社会経験を積めるよう、参加施設がボランティア活動の場を提供します。

<緊急時支援>

児童養護施設等を出て進学や就職をする若者が緊急的に困った時、参加施設が生活相談にのり、必要に応じて経済的援助を行うことで、自立を支援します。

る

就労支援事業

～ろうどうへのステップを応援～

中高年のひきこもり

自宅に半年以上
閉じこもっている
40～60歳

61万人



ひきこもりになった
きっかけが
仕事に関する事

(出典)内閣府「生活状況に関する調査(平成30年度)」

<就労体験支援>

就労体験をする人に交通費を支給し通いやすい環境をつくることで、一般就労につながるよう支援します。

<中間的就労>

参加法人が中間的就労の場を提供するとともに、非雇用型の場合は交通費相当額を支給し通いやすい環境をつくることで、一般就労につながるよう支援します。

<一般就労支援>

中間的就労や就労体験などの就労支援を得て一般就労をしようとする人で、生活困窮により就職に必要な準備が整わない人に経済的支援をします。

若者よりそいサポート事業

サポート対象者にインタビュー



滝澤ジェロムさん
日本福祉大学
社会福祉学部2年生
児童養護施設名広愛児園 出身

私は、日本福祉大学 社会福祉学部子ども専修に通い、「若者よりそいサポート事業」の「就学支援」を受け、社会福祉士と保育士の資格取得を目指し学んでいます。

■夢を伝え、この事業があったからこそ叶ったこの想い

自分は大学へ行って福祉の勉強をしたいんだという夢を、施設の方に伝えたからこそ進学できました。お金に困っている後輩たちにも意志を伝えれば、夢に向かって勉強できるんだということを教えてあげたいです。このような事業を知らないのはもったいないと思います。今の自分があるのも、このサポート事業のおかげです。

■月一度ホーム(家)に帰れる安心感

月に一度生活資金を受け取りに自分が育った施設に帰るのですが、それはとてもうれしいことです。自分にとってはホーム(家)なので、安心します。職員の方たちや後輩と話をするのが楽しみです。自分の姿を見て、後輩たちも進学する夢をあきらめないでほしいと思います。そのためにも頑張ろうと思っています。



若者

・生活資金手渡し
・生活状況の確認
随時、相談にのる

ボランティア活動の場を提供



よりそい
支援施設

サポートの
しくみ



ボランティア
受け入れ施設

連携

■ボランティアも夢の一步

社会福祉士を目指す自分にとって、母子生活支援施設 名古屋市五条荘でのボランティアはとても勉強になります。子どもたち一人一人価値観が違うので、それぞれに対話の仕方を考えてコミュニケーションをとるのは難しいです。子どもの目線になりわかりやすい言葉で伝えるにはどうしたらいいか、どうやって関わっていいか模索しながら接しています。



生活資金は
市民等から
よりどころ参加施設拠出金や
の寄付金から支出しています。

参加法人・施設

滝澤さんの夢

逆境をバネに 支援をパワーに 夢は次世代の福祉を開拓する社会福祉士

私が保育士や社会福祉士を目指すようになったのは、小学校4年生の時入所した児童養護施設名広愛児園がきっかけです。施設の職員の方たちは、とても親身に子どもたちに接してくれました。それを見て、自分も資格を取って子どもたちを助けたいと思い、福祉の道を選びました。

その一歩として非営利活動法人全国こども福祉センターに所属し、ボランティア活動をしています。名古屋駅西口に立ち10代~20代の若者に声をかけ、悩みや問題を抱えている彼らの生の声を拾い、相談にのったりアドバイスをしたり福祉の情報を提供する活動です。

今後は、経済的・家庭的な問題を抱えている子どもたちに必要な制度・施策を勉強するため、大学院への進学も考えています。

サポート対象者滝澤さんを 応援する社会福祉法人



「よりそい支援施設」

社会福祉法人 名広愛児園（児童養護施設）
養護部統括主任 松浦豊純さん

■この事業は大学へ一歩踏み出すきっかけ

この事業での支援は、大学に行くに際して経済的に大きな援助になっています。大学に行くというスタートラインにも立てない子が、立てるようになったということ、入り口を作ってもらったということは大きな支えです。

■直接面談は大切！

月に一回、当施設に給付金を受け取りに来ることになっているので、直接会って近況報告を聞けますし、面と向かって話を聞けるので様子がわかりやすく、この面談は大切だと思います。

滝澤さんたちは参加法人の拠出金や市民からの寄付金で支援されているのを自覚していますので、多くの人に助けられ支えられて生きているのがわかるよい機会でもあります。

■ボランティアは大切な社会経験の場

ボランティアをすることは社会的経験として大切な事だと思います。社会にはいろいろな社会福祉法人の施設があって、皆支え合って生きていることを知ることができます。

できれば社会人になってもやれるよう、つながりをもってあげればよいと思います。

滝澤さんにはこの事業の支援を受け、ボランティアもしながら大学を卒業するというロールモデルになってほしいです。



「ボランティア 受け入れ施設」

社会福祉法人 名古屋厚生会
名古屋市五条荘（母子生活支援施設）
少年指導員 清沢奈々江さん



■子どもたちの近い存在でいられる滝澤さん

滝澤さんには、先ず勉強、その後遊びという当施設の流れにそって、子どもたちを見てもらっています。

今年2年目ですが、子どもたちとの関わり方が上手で、やんちゃな男の子にもうまく相手をしながら遊んでくれるので、安心して任せられます。職員は指導的立場で子どもたちに注意してしまうのですが、滝澤さんの場合は子どもたちにとって近い感じがするようで、彼が言ってくれた方が、話も入っていきやすいようです。

■若者の姿は子どもたちの良いお手本

子どもたちは滝澤さんを見て、「将来こういう選択肢もあるんだ。自分たちも勉強して大学にいけるとい道があるんだ」ということに気づくと思います。子どもたちにとってよいモデルになっています。

■職員にとっても刺激

子どもたち同様に職員も、彼と話をすると学生時代の気持ちに戻り、刺激を受けています。

この事業でボランティアを受け入れることは、地域貢献に参加できるということでもあり、意義あることだと思います。

居場所・サロンづくり事業

専門性を生かした親子への寄り添い

社会福祉法人 愛知育児院 幼保連携型認定こども園 南山ルンビニー園



取り組み

「ルンビニーひろば」

- ・地域の0～2歳児が楽しめるプログラムの提供と育児相談。
- ・月2回、南山ルンビニー園と八事コミュニティセンターにて開催。定員10組、予約制。

「わいわいひろば」

- ・地域の赤ちゃんと母親の情報交換の場で妊婦も対象。月1回開催。定員なし、予約制。

始まり	どのように？	今後
<p>今から15年ほど前、当時の園長が保育園などに子どもを預けていないお母さんたちの孤立を心配し、何か手助けがしたい、安らぎの場を提供したいという熱い思いで立ち上げた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士2人で担当するが、担当者だけで抱え込まないように皆で協力し、年に一度、保健師や看護師等他の専門職を講師に招く。 ・ベテランの保育士が、育児や成長に関する悩みを聞き対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わいわいひろば」は、妊婦の参加者が増えるよう、広報の方法を見直すなどの工夫をしたい。 ・ひろば以外の時や他園に入園されてからも、いつでも来ていただける存在でいたい。

サロンをして得られたことは？



寺本己織
園長

家で子育てをしている方の悩みや、困っていることを改めて知ることができます。園の保護者とは違う思いや意見は、普段の保育や保護者との関りにも生かせるので、とても新鮮で勉強になります。

また、昨年から八事コミュニティセンターでも開催していますが、地域の方との関りが増えたこともよかったと思います。

民生委員や他機関と連携して創る高齢者の居場所

社会福祉法人 華陽会 華の郷南陽



取り組み

華の郷南陽「地域交流スペース」

- ・地域の高齢者を対象に、月1-2回、認知症予防講座や手工芸文化講座、不定期で音楽鑑賞イベントを開催。
- ・その他、囲碁教室への場所提供など、地域での幅広い活用を促進している。

バラエティ豊かな企画で“みんなの施設”に

社会福祉法人 ひまわり福祉会 障害者支援施設 社の家



取り組み

「さろんすきっぷ」
住民同士が交流する場として、月1回手芸講座を実施。

「すきっぷごはん」
食事を提供し、交流。

その他にも、救命講座、ハンドマッサージなど様々な企画を提供。



始まり

当法人の「地域に開かれ、地域に必要とされる施設」という理念に沿って、地域の高齢者に必要な事業を展開したいと考え、平成28年度から順次推進してきた。



どのように?

- ・施設職員と、西福田学区地域福祉推進協議会、南陽地区会館等が協同で企画を検討し年間計画を立てている。
- ・企画、運営は現場職員が担当し、ものづくり、鑑賞、体を動かす系を、バランスよく取り入れている。
- ・送迎サービスを行い、参加しやすい環境にしている。



今後

- ・毎月、南陽4学区の民生・児童委員連絡協議会でPRした効果もあって、一定の固定客はついてきたが、サロンのような場に来られない人にどうアプローチしていくかが課題。
- ・地域の方々と連携し、いろいろな課題に対処できるような人的、物的な資源を提供し、ともに支え合い成長したい。

サロンをして得られたことは?



宮崎忠芳
施設長

サロンを始めるまで、現場職員には法人の理念が理解しづかったようですが、ケアマネと相談員を地域相談課にまとめ、地域住民と関わったり、地域に出向き民生委員の方たちと交流したりすることで、意識が変わってきました。地域に目を向ける良い機会となり、企画に役立つような資格を取ったり、いろいろなことにチャレンジするようになりました。また、入所者も地域に暮らす一人としてサロンに参加し、地域の人と交流を持てる場となっています。



始まり

施設開設時より、利用者と地域へ「出かけて行く」ことで地域交流の基礎を築いてきたが、2年前、改めて地域貢献に取り組むため名東区社会福祉協議会に相談。もともと他所で開かれていたサロン「すきっぷ」への場所貸しをきっかけに、「施設に来てもらう」取り組みを展開している。



どのように?

- ・8つの委員会が、それぞれ年数回ずつサロン等地域交流の企画・運営。
- ・定例のサロンの他、外国人住民を招いての郷土料理を通じた交流、長期休暇中の小学生の居場所(遊び、昼食付き)の提供等趣向の異なる企画を通じて、さまざまな年代・立場の住民に来てもらう。



今後

- ・実施曜日・時間・場所を固定し、これらの取り組みを地域に根付かせていきたい。
- ・地域のニーズをきちんと拾って、企画に反映させたい。

サロンをして得られたことは?



林照美
理事長

住民と交流することで、利用者が外へ出かけて行った際に声をかけてもらえるようになりました。利用者も安心して外へ出かけられます。また、若い職員がマッサージやアロマテラピーなどの認定資格を取得するなどいろいろなことにチャレンジするようになり、委員会活動が活発になりました。

就労支援事業(中間的就労支援)



就労中のSさん

Sさんは、名古屋市生活困窮者就労訓練事業の認定を受けた参加施設と名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター(以下暮らサポ)が連携し行っている「中間的就労支援(就労訓練)」を受け、中村区デイサービスセンターにて毎週木・土曜日16:00~18:00でフロア清掃のお仕事をしています。



あなたが笑顔でいらられる職場



「生活困窮者就労訓練事業所」

中村区デイサービスセンター ケアスタッフ
米本由佳梨さん

■やりがいを感じられるよう声かけを

私はSさんの就労訓練の担当として、仕事の内容について説明したり、他の清掃スタッフとコミュニケーションがうまくとれるようにフォローしたりしています。

また、働きやすい環境づくりに努めてきました。「いつもきれいにしてくれて、ありがとう。助かっています。」と、気持ちよくやりがいを感じてもらえるように声かけをしたり、清掃の時コンセントの差込口を探すのに困らないように長い延長コードを準備して、Sさんのストレスが少しでも軽減されるよう考えました。

暮らサポの古沢さんのサポートのおかげで、Sさんの受け入れにあたって困ったことはありません。

■就労訓練の受け入れにより職員への刺激も

最初、Sさんは緊張気味でしたが、だんだん表情も明るくなり、今はとてもやる気になってくださっているので、本人の希望があれば働いてもらう日を増やしたいと思っています。

私たち職員は、いつも真面目に清掃に取り組んでいるSさんの姿を見て、「自分たちも初心に戻って頑張ろう」という気持ちになりました。



「名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター名駅」

就労支援推進員
古沢悦子さん

■体験からパート雇用へ

私はSさんとデイサービスセンターの斡旋・調整と、彼女が仕事の内容を把握してスムーズに働けるようフォローし、継続した就労をサポートする役割を担っています。

デイサービスセンターの皆さんが、とても配慮ある受け入れをくださったので、Sさんは職場になじむこともでき、1ヶ月たった頃には私が何の手助けをしなくても働けるようになりました。3ヶ月目には、パート雇用が決まりました。

Sさんのように就労が継続するには、やはり受け入れ側や周囲のサポートが大きく影響すると思います。協力的な理解ある就労先があつてのことです。

■人材不足解消のきっかけへ

就労支援推進員は就労訓練先を開拓する役目も担っていますが、それが今の課題でもあります。就労を支援するにはもっと受け入れ先が必要です。

例えば介護施設では分業が進んでおり、一定の配慮があれば働き始めることができる方に間接業務をお任せすることで専門職は介護・相談業務に専念できます。

そのような事業所が増えれば、社会全体の人材不足の解消にもつながると思うので、今後も各方面に働きかけていきたいです。

参加法人一覧

70法人 177事業所 (2019年8月9日現在・順不同)
(事業所内訳(延べ):高齢60 障害34 児童18 保育21 その他4 社協40)

- | | | |
|-----------------------|-------------------|-------------|
| (福)愛生福祉会 | (福)愛知育児院 | (福)愛知玉葉会 |
| (福)愛知県婦人福祉会 | (福)あすなろ福祉会 | (福)英沁会 |
| (福)英楽会 | (福)華陽会 | (福)杏園福祉会 |
| (福)金城六華園 | (福)楠福祉会 | (福)光洋福祉会 |
| (福)小鳩会 | (福)昭徳会 | (福)新生会 |
| (公財)慈友会 | (福)すぎな | (福)晴光会 |
| (福)清明福祉会 | (福)相和福祉会 | (福)高坂福祉会 |
| (福)ちくさ学園 | (福)中央有鄰学院 | (福)長生福寿会 |
| (福)九十九会 | (福)貞徳会 | (福)TUTTI |
| (福)道徳福祉会 | (福)共育ちの会 | (福)名古屋厚生会 |
| (福)名古屋新生福祉会 | (福)名古屋身体障害者福祉連合会 | |
| (福)名古屋市総合リハビリテーション事業団 | | |
| (福)名古屋手をつなぐ育成会 | (福)名古屋西福祉会 | (福)名古屋東福祉協会 |
| (福)なごや福祉施設協会 | (福)名古屋ライトハウス | (福)名広愛児園 |
| (福)那爛陀学苑 | (福)日進福祉会 | (福)八起社 |
| (福)ひまわり福祉会 | (福)平針福祉会 | (福)フジ福祉会 |
| (福)葆光会 | (福)芳龍福祉会 | (福)名肢会 |
| (福)もえの会 | (福)よつ葉の会 | (福)緑生福祉会 |
| (福)和進奉仕会 | | |
| (福)名古屋市千種区社会福祉協議会 | (福)名古屋市東区社会福祉協議会 | |
| (福)名古屋市北区社会福祉協議会 | (福)名古屋市西区社会福祉協議会 | |
| (福)名古屋市中村区社会福祉協議会 | (福)名古屋市中区社会福祉協議会 | |
| (福)名古屋市昭和区社会福祉協議会 | (福)名古屋市瑞穂区社会福祉協議会 | |
| (福)名古屋市熱田区社会福祉協議会 | (福)名古屋市中川区社会福祉協議会 | |
| (福)名古屋市港区社会福祉協議会 | (福)名古屋市南区社会福祉協議会 | |
| (福)名古屋市守山区社会福祉協議会 | (福)名古屋市緑区社会福祉協議会 | |
| (福)名古屋市名東区社会福祉協議会 | (福)名古屋市天白区社会福祉協議会 | |
| (福)名古屋市社会福祉協議会 | | |

名古屋市 ※名古屋市については、ひばり荘(児童養護施設)がよりそい支援施設として参加。

「ちょっとやってみようかな」という気持ちで、ぜひ一緒にやりましょう!

参加法人にインタビュー

社会福祉法人ひまわり福祉会 理事長 林照美さん

当法人には、利用者も含め地域住民みんなで共に生きていきたいという思いがあります。そして、その思いを叶えるには、様々な社会福祉法人とのネットワークが必要になると思い、なごや・よりどころサポート事業に参加しました。自法人だけでは取り組むのに大変なこともありますが、他法人と情報を共有し一緒にやれることを見つけていけたらと思います。そして、施設が福祉の専門家であることをもっと地域にアピールし、「施設は困った時に何かしてくれるところ」と気軽に身近に感じてもらえる存在になりたいです。



▲左から 鈴木達也事務長、林照美理事長、齋藤英昭施設長